

教育訓練講習会に参加して

伊藤病院 診療技術部 放射線検査室 増田裕太

今回の参加でこちらの講習会は5回目となり、就職してからほぼ毎年参加しています。私の勤務先の伊藤病院では放射線検査室8名全員で参加しています。「放射線障害の防止に関する法令」の科目でも講義がありますが、この講習会は障害防止法にも医療法にも対応した内容を講義していただけるので非常に有用な講習会だと思います。そのせいか年々参加者が増えている印象で、今回の会場は満席状態でした。

実際に参加しての印象ですが、[実用的]という言葉が合うと思います。規定されている教育訓練と聞くと毎年同じ内容の基本的な事というイメージがありますが、そうではありません。もちろん基礎の復習もありますが、講師の先生方は毎年HOTな内容の講義をして下さいます。今実際に困っていることや考えなければいけないことを議題に出して提案してくれます。特にここ数年では放射化物規制についての話がリアルタイムで聞いているので大変勉強になっています。

今回、核医学と放射線治療の内容でそれぞれ看護師の方の講義がありました。振り返ってみるとこれまで出席してきた講習会等はほとんど技師か医師が講師を務めていました。技師であれば多くの方がそうだと思います。ですので、看護師さんの講義はとても新鮮でした。技師の関わらない検査治療の前処置や患者フォローについての話はなかなか聞く機会がありません。看護師目線の医療についてと、技師と看護師の情報共有の大切さを学ぶことができました。技師にとって看護師さんはとても身近な存在なので今後もこのような貴重な講義があると嬉しいです。

毎年興味深い講義をしてくださる先生方もさる事ながら、それを支える主催者の方々の努力と企画力には頭が下がります。これからも教育訓練の枠に留まらず最新技術と最新情報をも発信する場となることを期待しています。